

認知症サポーター養成講座を開催します

認知症は誰にでも起こり得る「脳の病気」です。

今後増加する認知症に関する正しい知識と、認知症の方と接するときの心がまえを理解し、認知症の人とその家族を応援する「認知症サポーター」を養成する講座です。

認知症について関心をお持ちの方ならどなたでも受講できます。

1人でも多くのサポーターの養成を目指しています。

■日時／10月24日(日) 午前10時～正午

■場所／役場第二庁舎 3階301会議室

■講師／松伏町キャラバン・メイト

■定員／20人(定員になり次第締切り)

■費用／無料

■内容／・認知症の基礎知識 ・認知症サポーターとは ・認知症の人と接するときの心がまえ

■その他／受講者全員に認知症サポーターの証の「オレンジリング」を配布します。

■申込み／10月5日(火)から電話で介護保険担当へ。



環境経済課のお知らせ

問合せ／生活環境担当 ☎ 991-1840

家庭でできる地球温暖化対策をしよう

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすれば良いのでしょうか。

次の10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

週2日往復8kmの車の運転をやめる

通勤や買い物にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。



待機電力を90%削減する

主電源を切りましょう。長期間使用しないときはコンセントを抜きましょう。



買い物袋を持ち歩き、省包装の商品を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば直ぐゴミになります。



冷房温度を1℃高く、暖房温度を1℃低くする

カーテンを調整したり着るものを工夫して、できるだけ冷暖房に頼らない。



風呂の残り湯を洗濯に使いまわす



家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごすとう暖房や照明も余計にかかります。



シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。



1日5分間のアイドリングストップを行う

駐車や長時間停車をするときは、車のエンジンを切りましょう。



ジャーの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ご飯はレンジで再加熱した方が電力の消費は少なくなります。



1日1時間テレビを見る時間を減らす

見たい番組だけ選んで見るようにしましょう。



ZOOM UP!

子ども歴史講座を開催しました【8月25日】



松伏記念公園で、29人が参加し、縄文土器の野焼きを行いました。

ソプラニスタ岡本知高コンサートが開催されました【9月11日】



田園ホール・エローラで、ソプラニスタの岡本知高さんとエローラ少年少女合唱団及び春日部共栄高校合唱部の皆さんが共演し、合唱曲「花」を歌いました。